

おお



議会だより

おお  
くわ

第157号

令和元年  
7月25日発行

## 6月定例会

- 地域おこし協力隊推進事業など  
補正予算を審議 …………… 2
- 村政を問う  
3名が一般質問 …………… 6
- キラリ！中学生⑦  
サッカー部 …………… 10



源氏螢の飛翔（伊奈川）  
撮影者：金澤由紀文さん

6月定例会は、6月13日から28日までの16日間の会期で開かれ、組合議会議長報告、行政報告、監査報告の後、陳情3件を採択、一般質問（3名4件）が行われた。村長提出議案は、報告1件、条例改正2件、補正予算2件、村道路路線認定1件、同意案件1件が上程され慎重審議し可決した。

## こんなことが決まりました 地域おこし協力隊推進事業など 補正予算を可決

### 条例改正

●職員勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

人事院規則の改正により職員の時間外勤務命令の上限が導入されることによる関係条文の改正

●税条例の一部改正

社会保障の安定財源の確保等を図る税制改革による関係条文の改正

### 陳情

●新たな過疎対策法の制定に関する意見書等の提出について

陳情者

長野県市町村過疎地域対策協議会

会長 羽田健一郎

結果

全会一致 採択

●辺野古新基地建設工事についての陳情

陳情者

戦争をさせない1000人委員会・きそ代表 森山 直保  
九条の会木曾連絡会代表 小松 功

結果

賛成多数 採択

●「後期高齢者の医療費窓口負担の見直し」にあたり原則1割負担の継続を求める意見書採択について

陳情者

全日本年金者組合木曾支部  
曾支部 支部長 古畑 昌夫

結果  
全会一致 採択

### 村道路路線認定

●村道大曲宅地線宅地造成地内の道路を村道に認定

### 人事

●監査委員の選任

大桑村野尻 奥田 斗生氏  
同氏の選任に全会一致で同意



### 補正予算審議

#### ◆プレミアム付商品券発行事業

Q 事業概要と住民への周知はどのように行うか。

A 本事業は国の消費税増税対策事業で、対象者は、住民税非課税者と2016年4月2日から2019年9月30日までに生まれた子のある世帯が該当する。商品券を1冊4千円で購入し、5千円分使用することができ、1人5冊まで購入可能。該当する世帯に、村から通知を出して申請してもらう。商品券の販売は9月中旬から12月31日まで。使用期間は10月1日から2020年2月28日まで。

#### ◆地域おこし協力隊推進事業

Q 地域おこし協力隊推進事業に予算計上されている経費の内訳は。

A 協力隊員の報酬、社会保険料や活動に対する消耗品などの必要経費。

Q のぞぎど森林公園でいつから雇用するか。

A 9月1日からを予定している。

Q 閉園期間はどのような業務を行うのか。

A 森林公園内を点検し、今後の修繕箇所を確認、提案を行う。冬期間については、観光協会の業務や、新年度のイベントの計画も行ってもらう予定。

## ◆林道整備事業

**Q** 今回の事業概要と今後の林道施設の整備予定は。

**A** 今回の橋梁測量詳細設計業務実施については、昨年度長寿命化計画に伴う調査を行ったところ、補修が必要だと判断されたもので、来年度国庫補助事業申請のため補正予算に計上するもの。昨年度調査6橋、本年度調査7橋が長寿命化計画の対象となっており、今後整備を進めていく。



林道野尻与川線 二反田沢橋梁

## 会計別補正状況

(単位：万円)

会計名	補正額	補正後の予算額	主な内容
一般会計	7,226	37億3,426	消防団運営経費（コミュニティ助成事業） 128 プレミアム付商品券発行事業（対象者限定） 1,715 木材工芸品加工販売施設改修工事他 491 林道野尻与川線橋梁測量詳細設計業務 1,459 地域おこし協力隊推進事業 283 公民館活動推進事業（コミュニティ助成事業） 204 スポーツ公園整備事業 983
国民健康保険事業特別会計	6	3億7,685	診療審査支払手数料 6

## 行政報告（抜粋）

### 平成30年度決算速報

平成30年度一般会計の実質収支は、9700万円となった。

### 木曽医療圏地域医療構想調整会議

5月23日、医療関係者、関係団体の代表者、住民代表、医療保険者、町村長で組織される木曽医療圏地域医療構想調整会議が開催され、木曽医療圏の今後の課題についての方向性として、医療従事者の確保、木曽病院の維持・充実、住民への啓発などが示された。6月6日、木曽病院、木曽医師会、木曽郡町村会で交流会が開催され、7月29日に木曽郡町村会として木曽病院への医師確保、運営負担金の増額などを求め、県知事健康福祉部長、県立病院機構、県議会へ陳情活動を行う予定。

### 地域おこし協力隊募集

のぞきど森林公園

キャンプ場の管理、企画運営やアウトドアプログラム商品の企画運営、観光を通じた地域活性化に必要な活動などを主業務として地域おこし協力隊の募集を開始した。募集期間は6月28日までとし、8月初旬には結果通知をし、9月からの任用開始を予定している。

### 知事と町村長等の意見交換

6月7日、木曽合同庁舎で拡大版木曽地域戦略会議として県知事と町村長等の意見交換が行われた。テーマは、御嶽山の一部規制緩和を契機とした誘客促進、観光消費を高めるための滞在型観光地づくりの地域が一体となった『日本遺産』・『中山道』を生かした観光誘客など木曽の観光地域づくりについて意見を交わした。

### 庁舎建設進捗状況

現在工事発注に向け、

### 国直轄砂防事業が決定

年度	事業名	金額
R元	越百川第3砂防堰堤事業	3億6,400万円
	下在砂防堰堤工群事業	2億6,600万円
	下洞沢砂防堰堤事業	1億円
	太田第1砂防堰堤事業	2,100万円
	猿沢第1砂防堰堤事業	2,100万円
H30補正	矢垂沢砂防堰堤事業	2,100万円
	猿沢第1砂防堰堤事業	8,000万円
	矢垂沢砂防堰堤事業	4,000万円

4月25日に実施設計委託業務契約を締結し、関係機関などと協議、調整を行って設計を進めている。今年の秋から旧大桑小学校の取壊しに着手し、資材調達では中尾沢村有林から木材を搬出する。新庁舎は、来年度に建設工事に着手、令和3年度に竣工予定で新庁舎の開庁は令和4年5月を予定している。

# 木曾広域連合議会報告

## 第1回臨時会

◎開催日 5月17日

正副議長選挙、委員  
会選任、承認2件、報  
告1件、契約締結1件、  
同意2件、選挙1件。  
審議の結果、原案どお  
り可決承認された。審  
議された主な事項は次  
のとおり。

### ●選挙・選任・同意

4月の統一地方選挙  
で、三か町村の広域議  
員の入れ替わりがあり、  
正副議長及び所属委員  
会の構成を変更。議長  
に、木曾町の榎本議長、  
副議長に、王滝村の下  
出議長を選出。当村関  
係では、総務常任委員  
会に岩佐議長、福祉環  
境常任委員会に瓜尾議  
員、経済観光常任委員  
会に鈴木議員、議会運  
営委員会に岩佐議長を  
選任。議会選出監査委  
員に、鈴木議員を選任

し同意。

### ●平成30年度一般会計 補正予算2件の承認

インターネット回線  
使用料還付金など42  
7万円を増額し、39億  
8466万円としたも  
の。

### ●工事請負契約の締結

平成31年度木曾地域  
高度情報化網光化促進  
事業・契約金11億88  
0万円。

## 第2回定例会

◎開催日 6月4日

上程された議案は、  
条例の一部改正4件、  
令和元年度補正予算2  
会計。審議の結果、原  
案どおり可決承認され  
た。審議された主な事  
項は次のとおり。

### ●条例の一部改正4件

・職員勤務時間及び  
休暇等に関する条例  
の一部改正  
人事院規則の改正に

より、職員の時間外  
勤務命令の上限規制  
が導入されたための  
改正

### ●火災予防条例の一部 改正

総務省消防庁次長通  
知による改正

### ●消防賞じゅつ金及び 殉職者特別賞じゅつ 金条例の一部改正

非常勤消防団員等に  
係る損害補償の支給  
等に関する省令の一  
部改正による改正

### ●介護保険条例の一部 改正

消費税率10%への引  
上げに伴う、低所得  
者の介護保険料の第  
1段階から第3段階  
までの介護保険料率  
引き下げを定める改  
正

### ●一般会計補正予算

主たるものは、人件  
費の組替で、163万  
円を増額し、4億68

17万円とするもの。

### ●介護保険特別会計補 正予算

人件費・システム改  
修経費分517万円を  
減額し42億6988万  
円とするもの。

### ●定例会終了後、全員 協議会開催

・光化事業の当村の進  
捗状況は、現在宅内  
工事を進めているが、  
連絡の取れない世帯  
が数件あるものの、  
総体的には工事は順  
調に進んでいる。

・和村の旧南部クリー  
ンセンター解体工事  
終了。

・養護老人ホーム木曾  
寮の建設予定地は、  
上松荘隣地。完成予  
定を令和5年度とし、  
指定管理制度の導入  
を行う旨の報告を受  
けた。

(報告者 鈴木 武)

お知らせ

## 議会を傍聴してみませんか

議会は公開が原則ですので、どなたでも傍聴ができます。

傍聴の手続きは、当日に傍聴者名簿へ氏名を記入していただくだけです。

音声告知端末やケーブルテレビの文字放送等で議会の日程をお知らせ  
しています。次回の定例会は9月開催予定です。ぜひお出かけください。

# 今後の議会改革の取り組みについて検討

## 自由討議会

◎開催日 6月14日

議会6月定例会終了後、本議会に議会改革を自主的に検討するため議会改革特別委員会を設置したことを受け、今後の議会改革の取り

組みについて、自由討議を行った。

平成29年4月に全国町村議会議長会において「町村議会議員の議員報酬等のあり方検討委員会」が設置され、平成31年3月に最終報告がまとめられた。今回示された内容につい

て、5月28日に東京都で開催された町村議長・副議長研修会の会議資料について議長から説明を受け、今後特別委員会において具体的な検討を進めていくことを確認した。



自由討議会

# 一般質問

## 議員3名が 村政を問う

6月定例会の一般質問は13日に3名4件を行いました。次ページより、質問議員が要約したものを掲載します。

### 一般質問とは

一般質問は、村が行うすべての事務や事業に関して何でも質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会のみで、臨時会ではできません。

#### ・質問時間は40分

大桑村議会では、議員が質問できる時間は答弁を含め1人40分以内です。

#### ・一問一答方式

質問は、一つ質問をして一つの回答を得る一問一答方式です。

この方法は、より問題を深められる方法といわれています。

#### ・事前通告

質問したい議員には、前もって質問内容を記した事前通告書の提出を義務付けています。

# 利用客増加策が必要では 外部のアイデアも取り入れていく



細田 光一 議員



ネイチャーゲームの様子  
(子ども交流セミナー)

**Q** 平成26年度から平成30年度まで、過去5か年間にわたるのぞきど森林公園の維持管理実績を伺う。

**A** 過去5か年を平均すると、収入は約250万円、支出については、工事請負費を除いて約650万円となっている。

**Q** 維持管理実績の年平均値を示されたが、5か年の合計から見ると、経費として約4470万円、収入として約1250万円あり、収支として5か年間でマイナス3230万円程となっている。これについてどのような施策なり、方向性で対処さ

れているか。

**A** 必要経費を減少することは困難であり、収入についてはここ数年わずかではあるが増加傾向にある。支出についても最低限の経費で行っており、永らくマイナス基調で来ていることから考えても大きな投資は出来ないと考えている。

**Q** この5か年の数字から見ても森林公園を利用してくださるお客様の増加を如何に図るかが重要であり、そこに力を注ぐべきだと思う。

そこで5か年間の収入1250万円の評価をどの様に把握しているか。

**A** 明確な私たちでアンケートは取っていないがその都度担当者がご意見等は伺っている。

**Q** 収入拡大を図るには利用客の声の中にもヒントがあると思うし、



のぞきど森林公園  
(第2バンガロー村)

又時間も必要であり、少なくとも3か年計画を用意し、明確な年次目標を立てて地道な積み重ねが必要と思うが。

**A** のぞきど森林公園は開園以来、村職員のみならず、地域の有志が結集して運営してきたがこの間キャン

プ場についての考え方や期待値などの変化も見られこの辺で外部の考え方も取り入れることも必要なことから、現在公募中の地域おこし協力隊のアイデアも取り入れていくことも考えている。



瓜尾美佐子 議員

# 国保税子ども均等割の減免を 現状では独自政策は適切ではない

**Q** 子ども医療費  
 昨年から高校卒業までの医療費の窓口無料化がようやく実現したが、手数料としてレプトごと500円の自己負担が残された。木曾町では手数料を町が負担し、窓口の完全無料化が実現している。



木曾病院  
(中央ホール)

**A** 大桑村でも公費負担で完全無料化を求める。500円のレプト代を公費負担するには221万円ほどかかる。他の子育て支援も進めているので、現状では実施はむずかしい。  
**意見** 国の責任で、せめて就学前の医療費無料化制度の実施と、県

に対して支援拡大を求めながら、村として完全無料化を進めて欲しい。

## 国保税

**Q** 506世帯761人が加入している国民健康保険広域化2年目の今年は、平均4.3%の値上げを計画している。全国の自治体の中には、広域化の流れの中でも独自の減免で値上げを抑えたり、子どもの均等割の減免で子育て世帯を支援している。木曾町は18歳未満の子どもの保険料に対して独自支援を行っている。

**A** 9世帯12人。

**Q** 子どもひとりにつき2万4400円の均等割分を減免するにはどれくらいの予算か。

**A** 約30万円で全額免

除できる。  
**Q** 国保税にしかない均等割は子どもが多い世帯ほど負担増になり子育て支援に逆行するとして国も軽減措置を検討するとしている。国に求めると同時に、村として赤ちゃんから課される子どもの均等割の減免を求める。

**A** 国全体として取り

組むべき問題。地方6団体でも制度改革に向けて国に強く要望しているところ。国保税の県内一元化に向けて足並をそろえようとしている今、村独自政策は適切ではない。  
**意見** 国保は社会保障であり、住民福祉の増進の立場で負担軽減の努力を続けるべき。



保育園 通園の様子

# 村営住宅建設を求める 来年度 野尻地区に2棟建設予定



鈴木 武 議員



大曲宅地分譲地

**Q** 若者の定住化施策として、現行の3分の1免除の奨学金制度を全額免除の、給付型奨学金制度に変更する考えはないか。

**A** 約6500万円の基金で運用していることから、現状の制度で継続していきたい。将来的には、他の制度を

**Q** 利用した学生も含め、在り方を検討したい。

**Q** 定住人口対策として、宅地造成事業は重要である。現在、販売中の野尻地区大曲の現況は。

**A** 応募者1名である。近々に、募集チラシを配布予定。

**Q** 良好な居住環境を

有した満足度の高い宅地造成の観点から、農用地を含めた土地利用計画が必要ではないか。

**A** 村有地、民有地を問わず、有効活用を進めたい。遊休農地については、農地法の制限もあるが、有効活用を図っていきたい。

**Q** 生産年齢人口の減少対策は、人口問題の中でも、喫緊の重要課題である。居住対策事業である村営住宅事業は、新築の単身住宅を中心に、需要は顕著である。新築や時代に即した、既存住宅のリニューアルが必要ではないか。今後の計画はないか。今後の計画は。

**A** 令和2年度に、野尻の新田地区に2棟4戸の村営住宅を建設予定。

既存住宅に関しては、募集開始後、すぐに応募があり、長期間のリフォームは困難のため、計画していないが、社

会動向を見ながら、建設や維持管理等図っていききたい。

**意見** 契約方法に関して。法人は、雇用住宅以外の契約が出来ないが、独身住宅契約を望む声がある。打開策を模索してほしい。

**Q** おためし居住事業の、応募状況は。また、古民家を活用して、利



旭町宅地分譲地

用料の一部負担や長期滞在型事業に一新する考えはないか。

**A** 予約1組、数件の問い合わせがある。古民家の活用に関しては、今年度で第1期総合戦略期間が終了し、来年度より第2期が始まるので、そこで検討していきたい。

# 議会活動日誌

## 3 月

- 1日 3月定例会
- 4日 全員協議会・3月定例会
- 5日 議会運営委員会
- 8日 JA 木曾大桑支所総集会
- 13日 3月定例会  
議会報編集特別委員会
- 14日 3月定例会
- 15日 大桑中学校卒業式  
地域公共交通協議会
- 16日 大桑小学校卒業式
- 18日 社会福祉協議会理事会
- 20日 大桑保育園卒園式
- 26日 全国森林環境税創設促進  
議員連盟正副会長会議  
(東京都)
- 27日 社会福祉協議会評議員会

## 4 月

- 2日 議会報編集特別委員会
- 3日 大桑保育園入園式

- 4日 大桑小学校入学式  
大桑中学校入学式
- 10日 議会報編集特別委員会
- 13日 国道沿い ゴミ拾い
- 14日 消防団春季総合演習
- 26日 村歓迎会

## 5 月

- 9日 5月臨時会  
村交通安全協会総会
- 10日 郡議長会  
町村会・議長会主催歓迎会
- 12日 木曾郡少年相撲大会
- 13日 障がい者グループホーム  
「さくら家」開所式
- 14日 木曾地域交通網対策協議会総会  
阿寺溪谷管理運営協議会
- 15日 川上村植樹祭  
村商工会通常総会
- 17日 広域連合議会第1回臨時会  
・議会運営委員会

- 18日 村植樹祭
- 22日 村観光協会通常総会  
広域連合議会福祉環境常  
任委員会・経済観光常任  
委員会・総務常任委員会
- 24日 木曾南部森林組合総代会  
町村議会初当選議員研修会  
(安曇野市)
- 25日 大桑小学校運動会  
村消防団ポンプ操法訓練大会
- 28日 全国正副議長研修(東京都)  
JA 木曾通常総代会
- 29日 社会福祉協議会理事会

## 6 月

- 2日 社会福祉協議会ふれあいまつり
- 3日 県町村議会議長会臨時総会  
(長野市)  
村木造住宅推進協議会総会
- 4日 議会運営委員会
- 11日 広域連合議会第2回定例会  
郡防犯協会連合会総会

### 新任議員研修

#### 初当選町村議会議員 研修会に参加

開催日 5月24日  
場 所 安曇野  
スイス村  
サンモリッツ

初当選の町村議会議員が議会活動を行う上で、必要な基本的な知識を習得することにより、議会の活性化と適

正な議会運営を図ることを目的とする長野県町村議会議長会が主催する研修会に当村新人議員も参加しました。

第1部の講義では新潟県立大学田口一博准教授を迎え「議員としての心構え」のテーマで講義を受けました。

議員は住民の代表者であって代理人ではないことなど、住民や執行部に対し、議員としてどうあるべきか考えさせられた有意義な講

義でした。

引き続き第2部では、長野県町村議会議長会の宮崎担当係長から、「議会の制度と運営」について、議会の権限、議案審議の流れ、会議原則などについて丁寧な講義があり、今後の議員活動にむけて有意義なものとなりました。

#### 村行政について研修

新人議員もそれぞれの立場で村行政に關わっていました。個人差もあり、知識の平準化を図るためにも現場の担当職員から、直接、現状と課題について説明を受けたという希望を申し出たところ、村当局のご理解を頂き、新任議員研修を行うこととなりました。役場組織も広範囲にわたることから、6月中旬から9月まで、5回に分け時間をかけて

研修を受け、村行政について、理解を深めるべく努力しているところです。

今後、村関連施設をはじめ、広域連合など関係機関の施設等の視察や乗合タクシー・くわちゃんバスの試乗等、現場に向いて現状を肌で感じるように企画しているところです。

研修がよりよい村づくりにつながればと新人議員一同のモチベーションになっていきます。  
(報告者 清水芳昭)



新任議員研修



「おおかわ議会だより」は環境に優しい再生紙とベジタブルインクを使用しています。

# キラリ! 中学生 ☆

## 大桑中学校 サッカー部 ～中信地区大会出場を目指して～



現在、大桑村中学校サッカー部は、1年生6名、2年生5名、3年生1名の計12名の部員で活動しています。6月8、9日に行われた塩筑木曾サッカー大会では、惜しくも中信地区大会に出場とはなりませんでしたが、部員全員が全力でプレーすることができました。

サッカー部では今、「身のまわりの当たり前のことからしっかり行える部活」を目指しています。身のまわりのことをしっかりできるようになれば、チームの雰囲気良くなり、さらに良い練習ができると思うからです。また、整理・整頓ができれば、チームがまと

まって1つの方向に進んでいくことができます。このように身のまわりのことをしっかり行うことができれば、チームの雰囲気良くなり、練習の質を上げることができます。そうすることで、より強いチームになることができると思います。

これからリーグ戦も始まってくるので、1つひとつのプレーを大切に行っていきたいです。来年の塩筑木曾大会に向けて、今年出場できなかった中信地区大会に出場できるように、あと1年間全力で頑張っていきたいです。  
(2年 戸谷穂高)

## 村への思い⑨

### ここ10年の心境の変化

「手打ちそば おんたけ」店主  
野尻旭町 下原 実さん

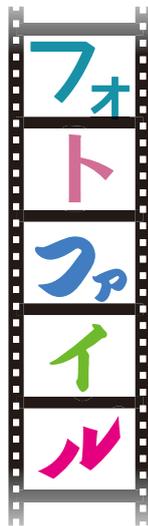


中学生の時の総合発表会（現在の桑華祭）で当時の私は、将来家業である「手打ちそば おんたけ」を継がないと発表しました。高校卒業後、調理師学校に進んだ時も、調理の仕事に就いてからもまだ継ぐとは思っていませんでしたが、父が体調を崩した事から手伝うようになりました。

父の後を継いで早いもので10年以上が経ちました。調理の経験はあってもそば打ちの経験はなく、10年以上経った今でも試行錯誤の毎日です。

この大桑村の地に祖父の代に「おんたけ食堂」として開店し、おかげ様で昨年創業50周年を迎えることができました。

これからも地域の皆様はもとより、村外からも多くの方に足を運んでいただけるようなお店にしていきたいと思っています。



表紙撮影

金澤由紀文さん（下在3）

▼源氏蛍の飛翔

伊奈川地区保存会の皆様のおかげで、毎年幻想的な源氏蛍の飛翔を撮影させてもらっています。

梅雨時と重なってしまうのでチャンスは少ないですが、星空と蛍の競演を撮りたくて何度もチャレンジしています。

### 編集後記

▼議会報編集特別委員が改選されました。より見やすく、分かりやすい紙面作りを目標に努力してまいりますので、皆様からのご感想やご意見をお寄せ下さい。

委員長 細田光一

議会報編集特別委員会  
委員長 細田 光一  
副委員長 沼田 友行  
委員 清水 芳昭  
委員 坂家 重吉

勝野 清子